

# 沖縄の旅

2007年2月13日～16日

## 修学旅行全旅程

2007年2月13日(火) 8:00  
羽田第2ターミナルB1F「若い芽のひろば」集合

2月13日(火)			
	ANA123	佐喜真美術館	グランド
羽田空港	那覇空港	道の駅かでな	キャッスル
8:55	11:40	海軍司令部壕	ホテル泊
			17:30

2月14日(水)			
ホテル	各クラスごとに	昼食(平和祈念公園)	
7:30	別れて平和学習	《集合写真撮影》	
		11:30	
平和祈念資料館	ひめゆり平和祈念資料館	サンマリーナ	
~ 13:00	13:15 ~ 14:15	ホテル泊	
		15:30	

2月15日(木)			
ホテル	班別体験学習	サンマリーナホテル泊	
8:30		17:00 ~ 18:00	

2月16日(金)			
		ANA128	
ホテル	首里城	国際通り	那覇空港
8:30	9:30	10:40	11:00
			13:30
			14:00
			15:00
			17:10
			羽田空港

2月19日(月)から平常授業。体調を整えましょう!

- 1 -

## 修学旅行必携情報

**1日目昼食** 各自持参すること(ペットボトル持込禁止)

1泊目 ホテル日航 グランドキャッスル	私の部屋	
	担任の部屋	
	保健室	721

2・3泊目 サンマリーナホテル	私の部屋	
	担任の部屋	
	保健室	614

部屋に入ったら、非常口と避難経路を確認しよう!

**移動本部携帯番号** 090 - - (根本)

**担任携帯番号** 090 - -

**3日目体験先別バス** 号車

**千葉県立柏陵高等学校** 04 - 7174 - 8551

欠席・遅刻連絡は、当日7:45~8:00に移動本部携帯が担任携帯に必ず連絡すること!

- 2 -

- 2 -

戦後60年を経た現在もなお、国土面積のわずか0.6%に過ぎない狭い沖縄県に、在日米軍基地は県土面積の11%を占めています。とりわけ、人口や産業の集積する沖縄本島においては約19%を占めています。

組	番	氏名	班
---	---	----	---

- 1 -

## 修学旅行の心得と諸注意

## 目的と意義

### 1, 時間の厳守

集合は、定められた時刻の5分前に完了する。  
起床・消灯の時間を守り、規則正しい生活をする。

### 2, 服装・頭髪

服装は、動きやすく華美でないものとする。  
スポン着用。スウェット禁止。  
昼間暖かいと半袖シャツで充分だが、日差しが無く風が強い時はトレーナーやウィンドブレーカーなどはある物が必要。  
靴は、ガマ(洞窟)に入ることを考え、運動靴・スニーカーなどの歩きやすい靴を履く。(ビーチサンダル禁止)  
頭髪は、学校内の規定のとおり。 アクセサリー・化粧禁止。

### 3, 生活と行動

自分勝手な行動を慎み、集団の一員としての自覚を持ち、周囲の人々に迷惑をかけないこと。  
喫煙・飲酒等、法令及び校則違反は、厳しく指導する。  
事故が発生した場合は、速やかに担任・本部に連絡する。

### 4, 搭乗時及び機内における心得

配布された搭乗券を紛失しない。また、搭乗時の身体・手荷物検査では、必要以上に時間がかからない様に適切に準備する。  
機内では客室乗務員の指示に従う。  
携帯電話、ウォークマンタイプの製品は電源を切ること。  
トイレ以外の立ち歩きや大声の話し声は、他のお客様に迷惑になる事を充分に自覚し、原則としてシートベルト着用すること。

### 5, ホテル内

整理整頓を心がけ、器物の破損には十分注意する(弁償する)。貴重品の管理は、各自の責任において行う。  
他の宿泊客に迷惑がかからないように心配りをする。  
オートロックなので、鍵の閉じ込みに注意する。鍵の閉じ込みをしてしまった場合は、フロントに連絡する。

- 3 -

スリッパで廊下を歩くなどは厳禁。マナーをわきまえること。  
他の宿泊客に不快感を与える服装・言動を慎むこと。  
点呼・消灯後は他の部屋への移動を禁止する。  
ホテルを退出する時は、整理整頓に気を配り、忘れ物をしない。  
夜間外出は禁止。  
面会を希望する生徒は事前に担任に届け出て、指定された時間、場所で面会する。

### 6, 所持品(下記の所持品確認表を参照すること!)

所持品には記名し、忘れ物、盗難に注意する。  
現金は必要最小限にとどめ、不必要な大金は持っていかない。  
飛行機の手荷物検査は、年々厳しくなっている。  
次の物は、持ち込めない。ハサミ、カッター、ドライバー、カミソリ、スプレー類(スプレーは送る荷物でも不可)など

### 7, その他

アルコール類をおみやげに買う場合は、最終日の国際通りで購入すること。それ以外の場所での購入は不可とする。  
機内に手荷物(1個のみ)を持ち込むことができる。

#### 【所持品の確認表】

1	着替え	10	修学旅行のしおり
2	下着	11	生徒手帳・身分証明書
3	寝間着	12	保険証(またはコピー)
4	懐中電灯	13	筆記用具
5	軍手	14	常備薬
6	帽子	15	1日目の昼食
7	タオル	16	雨具(カッパ)
8	ウェットティッシュ	17	現金
9	バンドエイド	18	カメラ等

印がついているものは、バッグに入れて当日の朝持参する。  
それ以外の物は、2月9日(金)の結団式の日(金)に学校に持参すること。学校から直接ホテルに送ることとなっている。

### 8, 2月9日(金)の予定

1・2・3・4限目は授業。  
5限目: 結団式、6限目: LHR(最終確認)

- 4 -

- 3 -

### 1, 目的

太平洋戦争で、住民を巻き込んだ凄惨な地上戦が展開された沖縄戦を追体験し、戦争と平和について考える。  
我が国の国土面積のたった0.5%を占めるに過ぎない沖縄県に、在日米軍施設の75%が集中する現実を実感する。  
亜熱帯地域の自然と風土、そして沖縄固有の文化や歴史に触れ、多様な文化のあり方について理解する。  
人間関係を磨き、よい旅行をみんなで作る。

### 2, 平和学習の意義について

沖縄戦から60年が経過し、実際に沖縄戦を体験された方々も高齢になっています。また、多くの肉親や友人を失った方もいらっしゃいます。

今年もそのような経験を持つ方々に、沖縄戦の辛い体験をバスに半日の間同乗して頂き、未来ある若い柏陵高校のみなさんに、貴重な体験を伝えて頂くことになりました。

高齢で体力的にも難しいけれど、高校生の方々に本当のことを伝えたいという熱い気持ちを持った方々ばかりです。その熱い気持ちを私たちは、きちんと受け止める義務があると思います。

声が小さくて、聞き取ることが難しいこともあるかもしれませんが、でもそれは、みなさんがきちんと聞こうという気持ちがあれば、乗り越えられる壁です。  
この貴重な時間を大切に受け止めましょう。

### 3, 特に心がけること

時間厳守・体調管理・貴重品管理・マナー順守  
気持ちよく修学旅行を送るのに必要な、当然のことです。  
様々な人たちの話を、よく聞くこと。

- 5 -

## 保健関係諸注意

### 1, 携行しなければならないもの

保険証または保険証のコピー  
保険証を持参する場合は紛失に十分気を付けること。  
コピーの場合は、両面を必ずコピーすること。

医師の指示で服用している薬・常備薬・バンドエイドなど  
常備薬とは酔い止め薬、胃腸薬、コンタクトレンズ洗浄液など。  
服用する薬は、持参する救急バッグからは与えません。

### 2, 健康管理

#### 《旅行前》

栄養と休養を充分にとり、体調を整えておく。  
持病がある場合は、旅行前に主治医の診察を受け、旅行中の健康管理について相談しておく。(特に虫歯などの処置)  
気温の違いに留意して、衣類を準備する。

#### 《旅行中》

睡眠は充分にとり、規則正しい生活リズムを心がける。  
飲み物や菓子類は、本来の食事を妨げない様に心がける。  
旅行中は体調を崩しやすいので、乗り物に酔う人、便秘・下痢になりやすい人、胃腸の調子を崩しやすい人は、常備薬等を携行し、自主的な健康管理を心がける。  
身体に異常を来した場合は、すぐに担任・添乗員または看護士に連絡すること。また、各クラスの保健委員が救急セットを携行するので、軽いケガはそれで応急処置をする。

#### 《旅行後》

旅行中の傷病については、旅行後、適切に医師にかかること。  
また、医師にかかった場合は、保健の適用の関係があるので、必ず保健室に連絡すること。  
旅行終了後、2日間の休日で疲れをとり、元気に登校しよう。

- 6 -

- 4 -















